

昭和40年度総会ならびに春季大会のお知らせ

1. 期 日 5月11日(火), 12日(水), 13日(木)
2. 場 所 大阪府厚生年金会館(大阪府東区森之宮西ノ町)および大阪市教育会館(大阪府東区法円坂町)
3. シンポジウム 題目 成層圏
(話題提供者その他は3月号に掲載する)
4. 予稿集刊行について
前回と同じ要領で予稿集を刊行します。講演申込は3月6日(土)に締切りましたが、原則として、予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は送付された予稿用紙に必ず研究結果を記載して下記へ提出して下さい。
予稿提出先: 東京都千代田区大手町 気象庁観測部測器課 竹内清秀
期限: 4月3日(土)必着(以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから、郵送に要する時日を考慮して早目に投稿して下さい)
5. 宿舎予約について
大会中の宿泊希望の方は各自で直接下記へ早目に申込んで下さい。

記

- ◎大阪共済会館(大阪市東区法円坂町一大会場の向側)
宿泊料は1泊朝食付 900~600 円程度。個室の場合は200円程度増額されます。申込の際は予約金1泊に付200円を添え、和・洋・個室の別を明記されたい。
- ◎非現業共済組合大阪宿泊所「谷町荘」(大阪市東区粉川町一大会場へは徒歩5分)
宿泊料は1泊2食付650円程度、予約金1泊に付き200円を添えて申込むこと。
プログラムおよび会場案内図、懇親会等の詳細は天気3月号に掲載します。

月例会のお知らせ

春季講演会

(プログラム・講演要旨は本文60頁以下を参照)

会期: 3月26日(金) 9時30分より

会場: 気象庁第1会議室

かねて予告したように、春季および秋季大会を補足し併せて従来のグループ別月例会の欠陥を補うことを意図して、春季講演会を開催します。新しい試みですから、不備な点もあることと思いますが、広い分野のいろいろな角度から討論するという初期の目的を達成できるように、会員多数の参加を得て盛大に行ないたいと思います。

講演企画委員会

主題: 航空気象

会期: 3月10日 13時30分より

会場: 東京航空地方気象台会議室

1. 中山 章(東航): Tiros の Coding Message を用いての解析例 (30分)
2. 菊地恒之(東航): 300mb 面の気温変化と気圧系の移動 (20分)
3. 菊地恒之, 能登正之(東航): 低気圧の発達と層厚場との関連 (20分)
4. 外山保茂(東航): 不時着水域のための波浪予報 (20分)
5. 草野 梓(防衛庁): 極大風の温位と圏界面(10分)
6. 久米庸孝(東航): 西高東低の気圧配置における日本海の雲の分布—1965年1月20日北陸豪雪観測飛行 (30分)

7. 橋場善也(東航): 本邦付近のクリアエアタービュレンスについて (20分)
8. 柴田 宜(東航) 主として下層のタービュレンスについて(第1報) (20分)
9. 尾崎風伍(日航): 航空機の離陸上昇におよぼす地形性の down draft と vertical wind shear の影響 (20分)

昭和40年度例会の予定

最近では月例会の分野があまりに細分化されすぎ、広い見地に立って近接した分野の多くの人々が集って討論をするという本来の姿が薄れてきたという批判に答えるために、理事会の了解のもとに昭和40年1月以降、暫定的に、数グループ合同のシンポジウムと大会の中間に大会に準じた講演会を企画し、すでに実施したものについては、幸に多数の会員の賛同とご協力により好結果を得ました。そこで昭和40年度もこの線に沿って例会の運営を推進したいと思います。さしあたり4月~9月の間のグループ別の例会は下記のとおり予定します。その他の詳細は4月号に掲載いたします。

記

6月「乱流」「山の気象」「高層気象」

8月「気象学史と教育」

9月「生気候(会場名古屋市)」

(講演企画委員会)